

2023年10月1日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市須和田2-12-3
fax 047-303-3025
携帯 090-6310-3294
メールアドレス
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール

No.156

9月議会質問 「市民アンケート」より 熱中症対策、高齢者の介護予防など

9月議会は、9月1日から27日まで開かれました。私は21日に一般質問を行いました。「市民アンケート」に寄せられた要望をもとに、3点質問。「高齢者の介護予防」「熱中症対策」「通学路の安全対策」です。補正予算が付ききました、「ゴールドシニア外出事業「チケット75」」の件についても、お知らせします。

高齢者の介護予防

問 市主催の「いきいき健康教室」が令和2年度で終了し、その後は、住民主体の「みんな体操」を奨励。現在41か所で開催されているが、「団体に貸していた、重りなどを返してほしいと手紙がきたがどういうことか」と、アンケートにあった。なぜか、伺う。

答弁 これまでは、手首、足首に重りをつけて、筋力トレーニングをするようにしていたが、重りをつけなくても、自分の重さを利用して行う運動でも、十分に効果が得られることが筑波大学などの研究で分かったので、そのように通知した。さらに、広めるために「みんな体操」や、その他の情報を掲載した、「きょういくこうろ」というリーフレットを作成している。

要望 住民主体の「みんな体操」を、住民まかせにならないように、団体の状況把握や相談活動、もっと寄り添った対策を要望する。

住民の熱中症対策

問 異常な暑さと、電気代高騰に悲鳴があがっている。公民館など公共施設や、商業施設などでの「クーリングシエーター」を自治体で用意するように、国が法律を改正した。すでに、習志野市など125自治体で始めている。ぜひ、本市でも検討してほしい。

答弁 第一庁舎の1階、2階、7階部分は開放している。「熱中症警戒アラート」が今年は34回と多くなっている。外出中の方が気軽に涼める場所の提供を含め、熱中症対策をすすめていく。

要望 世田谷区では、高齢者がよく利用する施設、薬局、銭湯、整骨院なども、涼める場所として確

保している。また、飲料水も区が援助しているということ。ぜひ、他の自治体の取り組みも参考に、実行してほしい。

通学路の安全対策

問 堀之内1丁目24番地先から中国分小に通う通学路の安全対策について伺う。通学時間帯の30分間に車128台が通り、児童・生徒が148人通っ



ている。そして横断歩道ではない十字路を横断している生徒が多数いる。とても危ないと思う。児童には遠回りになっている。

答弁 見通しが悪く交通量が多いことは認識している。関係する学校に安全教育を行うように、周知していく。

要望 横断歩道を変更するなど、しっかりと対応してほしい。

ゴールドシニア外出支援事業

「チケット75」について

- 対象者
75歳以上の方、5年度中に75歳に達する方
- 申請受付期間
10月23日(月)～11月15日(水)
※バス、タクシーそれぞれ上限1万人です
- 支給枚数
バス：10枚 タクシー：5枚
- 申請方法
Webか郵送で申請し、抽選。
※先着順ではありません
※右のQRコードをご利用ください
- 有効期限
12月1日～令和7年3月末



西部地域で

沖縄映画の上映会

9月15日、「平和のつどい」と題して、「沖縄、再び戦場（いづれは）へ」



スピノフ上映会が開かれました。「標的の村」「標的の島」「沖縄スパイ戦史」などの監督である、三上知恵さんが、新作ドキュメンタリー制作を開始しています。来年春の完成予定です。刻々と変わる沖縄の今を撮影し、映画完成までも、情勢が大きく変わっていく。ミサイル基地が開設される石垣島、自衛

隊基地が設置された宮古島、ミサイル部隊が来る全島避難も取りだされたる与那国島など、実態を大勢の人に見てほしいと三上監督が呼びかけ、全国でスピノフ上映会が開かれています。西部地域でも実行委員会を組み合わせ、会場いっぱい参加者で成功しました。皆さんから「沖縄だけの問題ではない」「何度も沖縄に行っている。壊さないで」など感想が出されました。沖縄を「再び、戦場」にさせない思いを共有しました。

第2回なんでも相談会・プレ企画学習会「生きづらいのなげ」

9月6日、田村陽平弁護士を講師に、第2回なんでも相談会・プレ企画学習会「生きづらいのなげ」を開きました。第2回なんでも相談会は、10月24日（火）10時から、市川駅南口広場で開催します。「労働」「生活」「健康」など、対応するスタッフがおりますので、お気軽に、ご相談ください。

「国庁」探し本格化 緑のフォーラムがシンポジウム



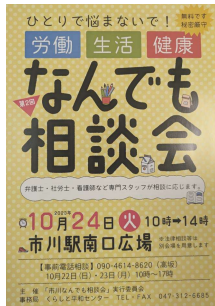
9月9日、和洋女子大学を借りて、国府台地区での遺跡調査の報告、保存計画など、シンポジウムが開かれ、会場いっぱいの参加者が集まりました。

国府台野球場の発掘調査、それ以前の県営住宅での発掘調査の報告もありました。県営住宅では来年には、新築工事が始まり、老朽化した建物の建替えが続く予定で、「市川緑の市民フォーラム」が、県知事宛てに「これらの遺構が破壊されないよう建替え計画の見直し」を求める要望書を提出したことが報告されました。

シンポジウムでは、「古代の下総と葛飾郡衛」と題して、「日本書紀」を引用して、古代の下総国、上総国、葛飾郡などの話、福岡県や高知県で見つかった同じような国庁のことなどが話されました。

無料法律相談

◎11月14日（火）
担当 米山和希弁護士
◎12月12日（火）
担当 広松大輝弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分。
予約は清水又は控室まで



《主な活動報告 9月》

☆9月22日 さいとう和子比例候補と宣伝



雨の中でしたが、本八幡駅で、さいとう和子衆議院比例代表候補と宣伝行動をしました。ビニール袋に入れた日曜版見本紙を配付し、岸田政権

の横暴さを示し、一刻も早く解散総選挙で、信を問えと訴えました。

☆9月24日 北陵クリニック事件学習会に参加

国民救援会が支援している宮城県北の北陵クリニック事件守る会の学習会が千葉県内で開かれ、参加しまし

た。千葉刑務所に収監されている守大助さんのご両親も仙台市から駆けつけ、支援を訴えました。また、同じく千葉刑務所に収監されている、栃木・今市事件の勝又さんの弟さんが参加し、兄の無実を訴えました。



☆9月30日 国分地域でつどいを開きました

日本共産党の志位委員長が質問に答える「18問18答」DVDを見て、感想を出し合いました。「なぜ、アメリカいいなりなのか」「マイナンバーカード強制をどう見る」「日本のメディアはどうして真実を報道しないのか」などが関心事でした。「もっともっと、よい政策をたくさんの人に広げてほしい」「広げるためにはどうしたらよいか」などの意見も出されました。